

令和4年度 第3回地域医療推進部会議事録

1. 日 時 令和5年2月27日（月） 第3回帯広市健康生活支援審議会終了後
19:35～19:50
2. 場 所 帯広市役所 10階 第2会議室
3. 出席委員 稲葉 秀一 部会長、大滝 達哉 副部会長、川上 義史 委員、中村 貴徳 委員、
佐々木 修一 委員、住谷 晋 専門委員、高橋 千秋 専門委員、小岩 幹 専門委員、
結城 和美 専門委員
4. 会議次第
 - (1) 前回会議の議事録（案）の確認
 - (2) 令和5年度健康推進課関係予算（案）について
 - (3) その他

5. 会議内容

○事務局

みなさま、こんばんは。定刻となりましたので、ただ今から、令和4年度第3回地域医療推進部会を開会いたします。

本日は、地域医療推進部会の委員9名中、9名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数に達しておりますことから、本日の部会は成立しております。（※住谷専門委員は途中出席）
それでは、これより議事の進行につきましては、稲葉部会長にお願いいたします。

◎部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に、「前回会議の議事録の確認について」を議題といたします。

この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。

議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

【質疑・応答なし】

別になければ、議事録は了承されたものといたします。

次に、「令和5年度健康推進課関係予算（案）について」を議題といたします。

事務局から、説明願います。

○事務局

それでは、資料令和5年度の健康推進課関係予算（案）につきまして、説明させていただきます。
資料1から説明させていただきます。

令和5年度の健康推進課関係予算（案）であります。予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

まず、表の右側に、令和5年度予算を記載しております。この中で、職員給与費へ振替分として、Bと記載している欄があります。こちらにつきましては、令和2年度から、地方公務員法・地方自治法の一部改正により、これまでの嘱託職員等のうち、多くの職員が、会計年度任用職員に移行していることから、健康推進課で予算措置しておりました報酬等の予算を、職員給与費として、人事課所管の予算に移行しておりますが、令和4年度からは短時間勤務の会計年度任用職員の報酬等も職員給与費に移行されたことから、過去と比較するためC欄を設けております。

左側の事業区分と、右側の令和5年度予算額につきましては、A欄をご覧いただきたいと思えます。まず、上から、保健衛生総務費が4億4,150万6千円、そのうち、主なものでは、保健衛生推進費が722万円、公衆浴場対策費が1,257万5千円、看護師等養成機関確保対策費が8,058万1千円、帯広厚生病院運営費補助事業費が2億1,000万円などとなっております。

妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、令和2年度より組織再編のため健康推進課関係予算として計上しておりますが、従前より児童育成部会で説明していることから当部会においては、予算額のみお示しすることとさせていただきます。

前年度と比較しての、増減の主なものとして、看護師等養成所整備補助事業費については、令和4年度のみ計上しているものであり、全体としてはゼロでございます。また、すこやかネット事業については、令和4年度を持って事業が終了したことから、令和5年度はゼロとなっております。

続きまして、夜間急病診療費は、1億6,436万4千円となっております。内訳といたしましては、休日夜間急病センターの管理運営費が8,644万4千円、在宅当番や二次救急医療などの救急医療対策費が7,792万円となっております。

続きまして、予防費は、総額で5億9,792万9千円となっており、主なものといたしましては、がん検診・健康診査費が1億4,311万円、予防接種費が3億6,438万8千円、感染症予防費が8,679万6千円、健康教育費が252万2千円などとなっております。

予防接種費が減となっている理由といたしましては、日本脳炎ワクチンの特例接種対象者の減などによるものでございます。

また、保健・介護一体的実施推進事業費については、令和5年度からの新規事業であり、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、保健事業と介護予防を一体的に実施するもので、予算額は48万8千円となっております。

最後に、保健福祉センター費として、3,038万6千円を計上しております。こちらは、保健福祉センターの管理運営に要する費用でございます。

以上、総事業費は、A欄の歳出予算合計で12億3,418万5千円となります。

続きまして、資料2、「令和5年度 健康推進課関係事業の概要」をご覧ください。

こちらは、資料1の内訳となります。

左側の、保健衛生総務費は4億4,150万6千円で、医療体制の整備や医療の人材不足への対応のほか、公衆浴場対策、健康まつりや健康づくりのボランティアの養成、育成など市民の保健予防の推進のための予算となっております。

右側の、予防費は5億9,792万9千円で、胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの5大がんの検診のほか、各種健康診査、予防接種や感染症予防、結核予防など、疾病の予防、早期

発見のための経費と、健康相談、健康教育、訪問指導の経費を計上しております。

中央の夜間急病診療費は、1億6,436万4千円で、休日や夜間の救急医療を確保するものです。帯広市の二次救急当番病院について、管内町村住民の利用割合が約4割を占めている現状となっていることから、その体制維持のため、三次救急同様、十勝全体での支援体制が必要との考えのもと、協議・検討を進めているところです。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおりの協議進捗が困難な部分もありますが、引き続き、二次救急医療体制の維持確保のため、帯広保健所をはじめ、関係機関と連携しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

次に、保健福祉センター費として、3,038万6千円を計上しております。こちらは、保健福祉センターの管理運営に要する費用でございます。

説明は以上でございます。

◎部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

◎委員

妊婦健康診査費は予算のみという説明でしたが、妊婦健康診査はほぼ100%に近い受診率なのでしょうか。先程の親会では、千人くらいで予算を組んでいるという話でしたが、1万円の診査費で9割くらいの方が受診しているという感じなのでしょうか。

○事務局

妊婦健診につきましては、母子手帳を保健福祉センターに取りに来ていただく時に、保健師からお話をさせていただいており、ほぼ100%、病院で妊婦健診を受けてくださっているというふうに考えております。

◎委員

細かな数字まではよいのですが、要するに、千人くらいの9割として、1人あたり1万円で計算したのが予算額ということですね。中身については児童育成部会の話になると思いますが、前から言っていますように、妊婦歯科健診も何とか検討してもらいたいと思っています。妊婦の歯周病が早期出産のリスク要因になるというエビデンスがあると前から言われていますので、他の町村や関東の方では妊婦歯科健診を導入している自治体も結構あります。安心して子どもを産めるという意味合いでは、少子化対策の一環とも言えます。千人のうち何人が歯科健診を受けるかはわかりませんが、予算については、3,300円の健診で2~300人として100万円程度という感じかと思いますが、検討していただければと思います。

◎部会長

こちらは要望ということでよろしいでしょうか。

◎委員

はい。

◎部会長

他にはいかがでしょうか。

◎委員

保健福祉センター費が増額となっているのは、どのような理由でしょうか。

○事務局

保健福祉センターのボイラーの修繕に必要な調査設計に係る経費が主な増額理由となっています。

◎委員

燃料費とかではないのでしょうか。

○事務局

電気代も入っております。

◎部会長

他にいかがでしょうか。

◎委員

保健・介護一体的実施推進事業の具体的な内容については、どのようなことを考えているのでしょうか。

○事務局

高齢者ということで、まずハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの2つに分かれておりまして、ハイリスクアプローチは今まで74歳までの方を対象に特定保健指導を実施していたのですが、それを75歳から79歳までの後期高齢者の方を対象にして、かつ、糖尿病の未治療者、それから腎不全未治療者等を対象として、ハイリスクアプローチを行うことを検討しているところです。ポピュレーションアプローチについては、これまでもやっております出前講座やフレイル予防の啓発などをやってまいりたいと考えております。

◎部会長

他にいかがでしょうか。

特になければ、質疑を終了いたします。

次に、その他に入らせていただきます。

その他に関しまして、皆様から何かご意見ございましたら、お願いいたします。

他になければ事務局の方から何かありましたら、お願いします。

○事務局

次回の地域医療推進部会の日程につきましては、稲葉部会長と調整の上、皆様に改めてご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

◎部会長

以上で予定されている議事はすべて終了いたしました。

本日は、これで閉会といたします。

ありがとうございました。